2 0 2 2 大河津分水イベントレポー |



未来に繋げる記念シンポジウム

信濃川流域の9つの自治体の市町村長からお集まりいただき通水100周年事業の集大成となるシンポジウムを開催しました。





日時: 令和4年12月4日(日)13:30~16:00

会場:新潟日報メディアシップ

参加:約120名

主催:大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念

未来につながる事業実行委員会





前列:田上町長・弥彦村長・五泉市長・燕市長・新潟市長・長岡市長・三条市長・加茂市長・見附市長 後列:信濃川河川事務所長・三条地域整備部長・新潟地域整備部長・遠藤麻理・

新潟県河川管理課長・長岡地域整備部長・信濃川下流河川事務所

2 0 2 2 2 大河津分水イベントレポート



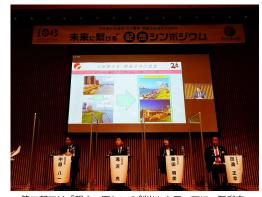
「このシンポジウムを契機に、川と共にある暮らしが次の 世代へ受け継がれていくことを心から願います。」中原新 潟市長による開会の挨拶を頂きました。



通水口ゴマークデザインの作成から今日までの周年事業を 振り返りました。また、周年事業を通じて集められたメッ セージを動画で紹介しました。



第一部では川の「防災」に関する取り組みについて、長岡市、見附市、燕市、弥彦村、田上町の首長から、課題や展望も含めてお話し頂きました。



第二部では「親水・賑わいの創出」をテーマに、新潟市 三条市、加茂市、五泉市よりミズベリングや親水イベン トついてお話し頂きました。



当日は会場に100名、オンラインで20名の方が参加。 「各自治体の取り組みがよく分かった。両分水の役割等よ り多くの人々へ伝え、次世代へ繋げてほしい。」などのご 意見を頂きました。



「先人達の想いを引き継ぎ、これからの100年を流域自治体と新潟県と国とで協力しながら取り組んでいきたい。」と鈴木燕市長より挨拶を頂き、閉会となりました。